講座番号 歴史・郷土史

026

地域社会史

地域社会のルーツから現代をフォーカスする

講座内容

わたしたちの身近にある地域社会には、どのような歩みと文化があるのかを垣間見ることで、わたしたちへ何かを語りかけています。今回は、世界的に分断と対立が蔓延しているなかで、対話と協調が求められています。そこで「江戸」を舞台にした分断と対立が庶民に与えた影響に視点をあてて、その地域社会の文化や風習から、わたしたちの生活への道標と明日へのヒントを模索していきます。

期　間	10月11日～12月13日	**受講料**	12,500円
曜　日	土曜日	**定　員**	20名　※最少催行人数 10名
時　間	10:00～12:00	**会　場**	横浜・関内キャンパス
回　数	全5回	**持ち物**	筆記用具
教　材	講師が毎回配布資料を用意します。		
備　考	●この講座は10月3日(金)までに中止の連絡が無ければ開催となります。		

講座スケジュール

回数	日　程	内　　容
1	10月11日（土）	**目の上のたんこぶはなくならないほうがよい** 目の上のたんこぶはなくなったほうがよいといいますが、酒井忠清、堀田正俊、徳川綱吉の関係性から考えると断言はできない気がします。それは何かを検証します。
2	10月25日（土）	**八百八町の夢と現の狭間で理想郷は夢幻の如くなり** 「白河の清きに魚も住みかねてもとの濁りの田沼恋しき」といわれる田沼意次と松平定信の対立を考察します。
3	11月　8日（土）	**出る杭は打たれるほど強くなる** 風雲児・蔦谷重三郎は様々な軋轢を克服しながら庶民への娯楽を追求します。その源流は何かを考察します。
4	11月22日（土）	**改革には痛みを伴うけど桜吹雪は花盛り** 痛みだらけの改革で庶民は意気消沈しますが、遠山の金さんこと「桜吹雪が江戸を斬り」まくります。
5	12月13日（土）	**イマジン江の島** 江の島伝説で悪行を重ねた五頭龍が恋心を抱く天女に諭され悪行をやめたことから平和への道を考察します。

講師紹介

加藤 壽宏(かとう としひろ)

本学国際文化学部非常勤講師

主要論文：「日本における公共事業と港湾・空港施設の現状と課題：社会資本整備と財政投融資を中心に」(日本港湾経済学会喜多村賞・奨励賞)、「近代日本経済と横浜港：渋沢栄一を中心に」、「近代日本経済と生野銀山：飾磨(姫路)港を介して見る銀の道」、『海と空の港大辞典』(分担執筆)ほか